

器 0 1 手術台及び治療台
一般医療機器 手術台アクセサリ (70469000)

M-ImagingPlus ショルダーポジショナー

再使用禁止 (保護キット)

【警告】

＜使用方法＞

1. 使用目的以外での使用は行わないこと。
[肩手術用の設計のため、他の用途には使用できません]
2. 患者の任意の体位を確保するためにアクセサリで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]

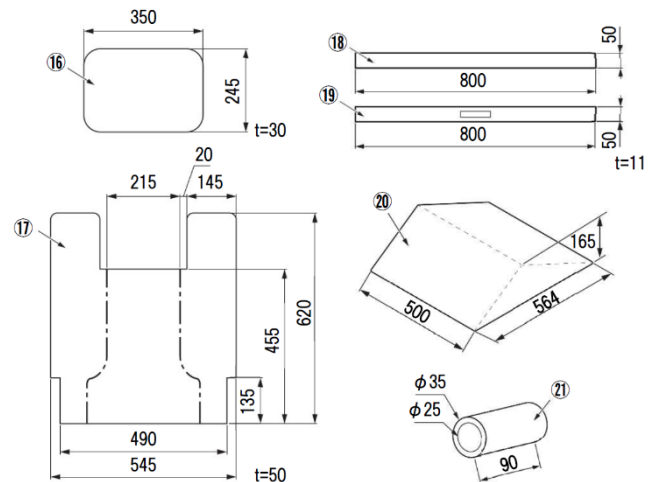
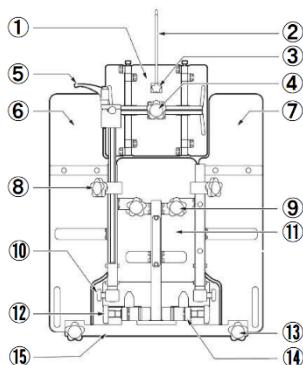
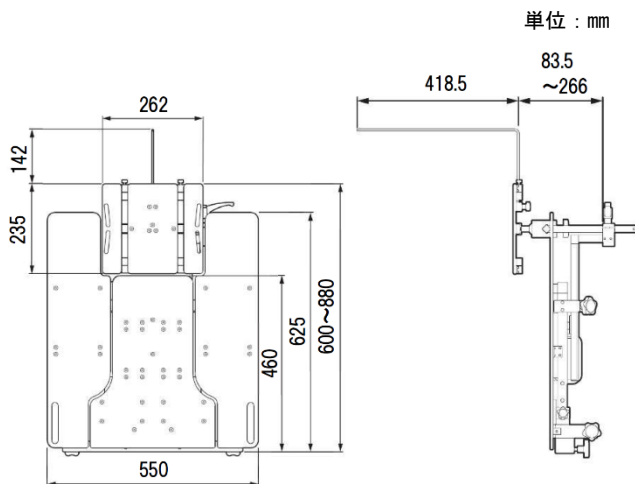
【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

1. 他社製手術台では使用しないこと。[他社製手術台での使用可能は確認していません。]
2. 【形状・構造及び原理等】の項目 4. に示す許容患者荷重を超えた使用をしないこと。[破損するおそれがあります。]
3. 保護キットはディスポーザブルの製品のため、再使用しないこと。[感染症の原因になります。]

* 【形状・構造及び原理等】

1. 外観図



商品コード	商品名	構成	質量
18-068-20	M-ImagingPlus ショルダーポジショナー 本体のみ (ピンカバー付)	①～⑮ ⑳	15.0kg
18-068-21	M-ImagingPlus 保護キット (3セット入)	⑯～⑲	0.65kg
18-068-22	M-ImagingPlus ビーチチェア下肢クッション	㉑	1.2kg
18-068-23	M-ImagingPlus 接続ピンカバー	㉒	0.04kg

2. 原材料

- ① 頭部板ユニット 板：合成樹脂
- ② リヒカ フレーム：ステンレス鋼
- ③ リヒカ固定ハンドル ：ステンレス鋼
- ④ 頭部板固定ハンドル 1 ：合成樹脂
- ⑤ 頭部板固定ハンドル 2 ：合成樹脂
- ⑥ 左肩板 板：合成樹脂
- ⑦ 右肩板 フレーム：ステンレス鋼
- ⑧ 頭部板固定ハンドル 3 板：合成樹脂
- ⑨ 肩板固定ハンドル 2 フレーム：ステンレス鋼
- ⑩ 肩板固定ハンドル 1 板：合成樹脂
- ⑪ 背板 フレーム：アルミニウム合金
- ⑫ 背板固定ハンドル ：合成樹脂
- ⑬ アダプター固定ハンドル ：合成樹脂
- ⑭ クランプ ：アルミニウム合金
- ⑮ アダプター ：アルミニウム合金
- ⑯ 頭部板パッド ：ポリウレタン
- ⑰ 背板・肩板パッド ：ポリウレタン
- ⑱ 頭部固定バンド (額) ：ポリウレタン

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ⑲ 頭部固定バンド（下顎） : ポリウレタン
 ⑳ ビーチチェア下肢クッション : ポリウレタン
 ㉑ 接続ピンカバー : ポリウレタン
 注：番号は1. 外観図の番号に対応。

3. 頭部板ユニット仕様

縦方向スライド量	最大 280mm
横方向スライド量	最大 154mm
昇降量	最大 182mm
屈折角度	約 43°

4. 許容患者体重

225kg

5. 使用環境

周囲温度範囲：10℃～40℃

相対湿度範囲：30%～75%

気圧範囲：700hPa～1060hPa

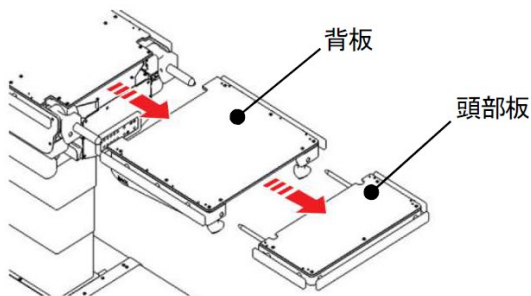
【使用目的又は効果】

手術台に付属するアクセサリをいいます。肩手術時に患者の頭部及び背部を支持するための器具です。

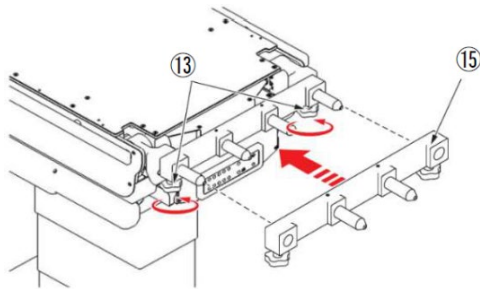
* 【使用方法等】

1. 使用方法

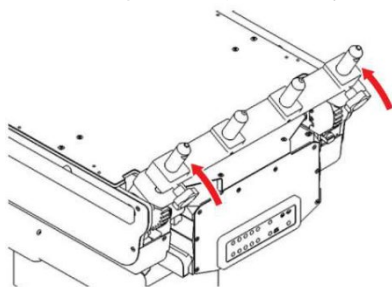
- 1-1 手術台のテーブルトップを水平位置及びスライドを中点位置にします。



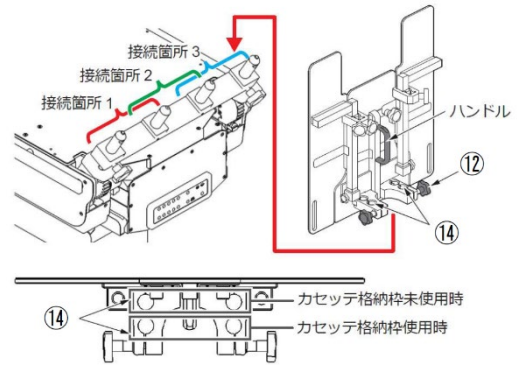
- 1-2 手術台の頭部板及び背板を取り外します。



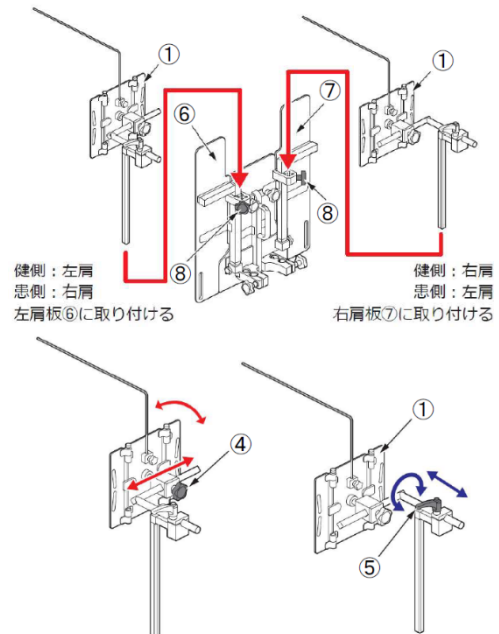
- 1-3 手術台の背板差込軸にアダプター⑮を取り付け、アダプター固定ハンドル⑬を回して固定します。



- 1-4 手術台の操作ボックスで背板屈折（上がり）を操作します。アダプター⑮が手術台マットレスと干渉しないよう、任意の位置に屈折させます。

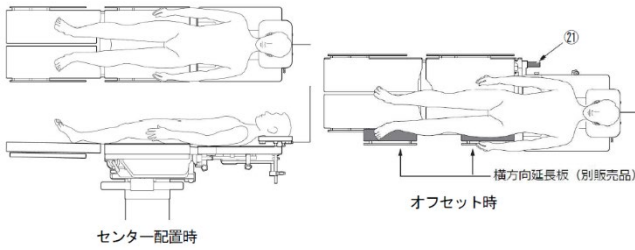


- 1-5 ハンドルを持ち、ショルダーポジショナーを手術台に取り付けます。
 左右の肩板が固定されていることを確認してください。また、頭部板ユニット①は事前にショルダーポジショナーから取り外してください。
 手技に応じて接続箇所1～3の任意の箇所に取り付けます。クランプ⑭の差込口は、手術台側のカセット格納枠の使用の有無に応じて選択してください。
 背板固定ハンドル⑫を回してショルダーポジショナーを固定します。



- 1-6 頭部板ユニット①を肩板（⑥又は⑦）に取り付けます。頭部板ユニット①の高さ、角度、位置を調整します。頭部板固定ハンドル③⑧で取り付け、取り外し、高さ調整ができます。頭部板固定ハンドル①④で屈折角度及び横方向の位置調整、頭部板固定ハンドル②⑤で旋回角度及び奥行方向の位置調整ができます。
 任意の位置に調整後、頭部板固定ハンドル③⑧、頭部板固定ハンドル①④及び頭部板固定ハンドル②⑤で固定します。
 1-7 手術台の操作ボックスで水平復帰を操作します。必要に応じて接続ピンカバー⑳及び横方向延長板（別販売品）を使用します。
 1-8 ショルダーポジショナーに保護キットをセットします。

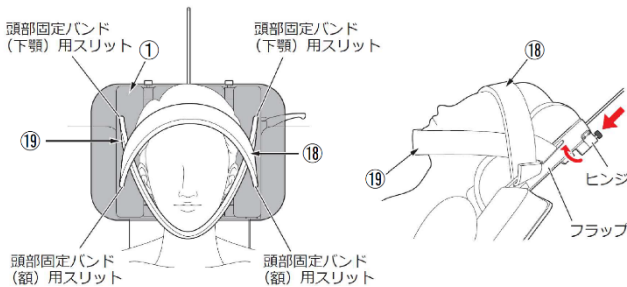
取扱説明書を必ずご参照ください。



1-9 患者を手術台に移載します。

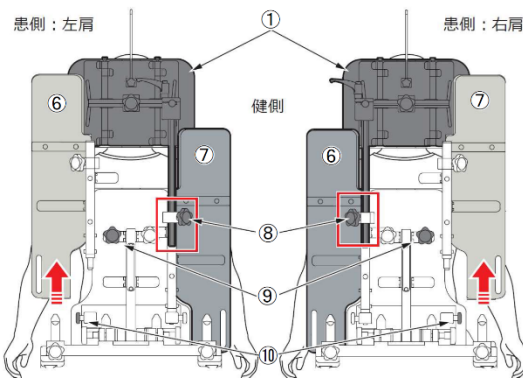


1-10 手術台の操作ボックスで背板屈折（上がり）を操作し、角度を調節します。必要に応じてビーチチェア下肢クッション②③及びタリスマンバンド（別販売品）を使用します。

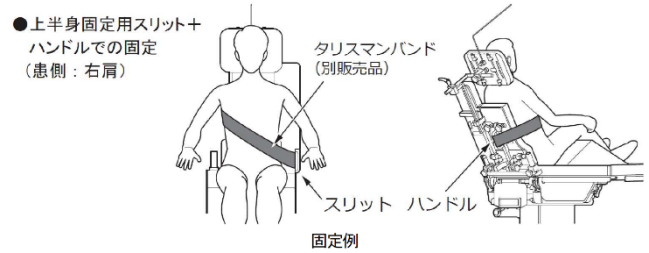


1-11 患者の頭部を固定します。
頭部板ユニット①の上段スリットに頭部固定バンド（下顎）①⑨、下段スリットに頭部固定バンド（額）①⑩を通し、患者の頭部を固定します。必要に応じて、頭部板ユニット①のヒンジ部のボタンを押して、左右のフラップの角度を調整します。

1-12 患者の頭部が固定されているか確認します。



1-13 頭部板ユニット①が健側の肩板に取り付けてあることを確認します。
健側の頭部板固定ハンドル③⑧が固定されていることを確認します。
患側の肩板（⑥又は⑦）を取り外します。患側の肩板固定ハンドル（⑨及び⑩）をゆるめ、肩板（⑥又は⑦）を上へ引き抜きます。



1-14 患者の上半身を固定します。

注：図中及び文中の番号は1. 外観図の番号に対応。

2. 使用可能な手術台

販売名：電動油圧手術台	MOT-5701
製造販売届出番号：	13B1X00306N10144
販売名：手術台	MOT-VS600Dj
製造販売届出番号：	13B1X00306N10284
販売名：手術台	MOT-VS700UIj
製造販売届出番号：	13B1X00306N10314

【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に傷害がおきるおそれがあります。
2. 衛生のため、患者が触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。
3. 本品を手術台に取り付ける前にスライド機能を操作してテーブルトップが中点位置であることを確認してください。
4. 本品を手術台に取り付けた後はスライド機能を操作しないでください。また、背板下げ機能が水平位置以下にしないでください。
5. 手術台を 작동するときには他のアクセサリやテーブルトップとの接触・干渉に注意してください。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

高温・高湿を避け温度や湿度が極端に変化しない場所及び水のかからない場所に保管してください。

2. 耐用期間

適切な保守点検及び適切な保管をした場合：7年（注）

〔自己認証（弊社データ）による〕

注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。

**【保守・点検に係る事項】

**

<使用者による保守点検事項>

1. 使用前・使用後の点検

使用前・使用後に「破損箇所がないこと」を確認してください。

2. 清掃・消毒

血液・薬剤・汚染等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。なお、消毒液は弊社製手術台にて確認済みの消毒液と同一のものをご使用ください。確認済みの消毒液については手術台の取扱説明書をご参照ください。

3. 故障時のお願い

本品が故障したと思われるときは、本品に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をし、ご購入店又は弊社に連絡してください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

<業者による保守点検事項>

弊社及び弊社が認めた業者のみが実施可能です。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社 千葉工場

保証期間に係る事項

本品は納品/設置してから1年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。